

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2013-520583(P2013-520583A)

【公表日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-555038(P2012-555038)

【国際特許分類】

D 04 H 3/011 (2012.01)

D 04 H 3/16 (2006.01)

【F I】

D 04 H 3/011 Z B P

D 04 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月17日(2014.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の纖維を含むウェブであって、

1つ以上の熱可塑性脂肪族ポリエステルと、

前記ウェブの0重量%超で、10重量%以下の量の収縮防止添加剤と、

前記ウェブの0重量%超で、10重量%以下の量の帯電防止添加剤と、を含み、

ウェブが無抑制条件で纖維のガラス転移温度を超えるが融解温度よりも低い温度まで加熱されたときに、ウェブの平面内の少なくとも1つの寸法の減少が12%以下である、ウェブである。

【請求項2】

前記纖維が分子配向を呈さない、請求項1に記載のウェブ。

【請求項3】

前記纖維が、分子配向を呈し、ウェブ全体に実質的にエンドレスに延在し、分子配向が少なくとも0.01の複屈折値をもたらす、請求項1に記載のウェブ。

【請求項4】

前記帯電防止添加剤が、少なくとも1つのフルオロ化学物質を含む、請求項1~3のいずれか一項に記載のウェブ。

【請求項5】

前記少なくとも1つのフルオロ化学物質が、ペルフルオロアルキルアクリレート又はその混合物から選択される、請求項4に記載のウェブ。

【請求項6】

前記収縮防止添加剤が、脂肪族ポリエステル中に分散した相を形成する半結晶質熱可塑性ポリマーからなる群から選択され、前記半結晶質熱可塑性ポリマーが、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリアミド、ポリエステル、これらの配合物及びコポリマー、並びにこれららの誘導体からなる群から選択される、請求項1~5のいずれか一項に記載のウェブ。

【請求項7】

少なくとも1つの脂肪族ポリエステルが、ポリ(乳酸)、ポリ(グリコール酸)、ポリ(乳酸-コ-グリコール酸)、ポリブチレンサクシネート、ポリヒドロキシブチレート、

ポリヒドロキシバレート、これらの配合物、及びこれらのコポリマーからなる群から選択される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のウェブ。

【請求項 8】

前記ウェブ中の前記纖維が、少なくとも点位置で結合される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のウェブ。

【請求項 9】

前記ウェブが、前記熱可塑性脂肪族ポリエステルを含む溶融混合物から形成される不織布ウェブであり、前記収縮防止添加剤がポリプロピレン又はナイロンである、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のウェブ。